

高齢者複合施設の建築設計と交付金活用セミナー【熊本地区】

高齢者の住まいと介護サービスのコラボレーションをめざし、全国各地に本格整備が進む「サービス付き高齢者向け住宅」等を含めた高齢者複合施設の建築設計と交付金活用事例を解説指導！

「高齢者住まい法」改正の影響とは？国交省10年間に60万戸のサービス付き高齢者向け住宅整備・・・

高齢者複合施設の建築設計の将来と効果的な交付金活用の進め方

～「高齢者等居住安定化モデル事業」・「第5期介護保険事業計画」のチャンスを生かした

サービス付き高齢者向け住宅・小規模多機能ホーム・GH・サテライト老健等の複合施設化の取り組み～

参加のご案内

本セミナーでは、本格的な超高齢化に対応するための高齢者複合施設の具体的事例を題材にして、企画・建築・運営に至るまでの事例を紹介。建築の専門家として事業構想策定から初期投資の考え方、行政との交渉、ローコスト設計、人件費節約、交付金活用等の具体的な内容を事例をもとに判り易く解説致します。また交付金活用動向やこれからの国土交通省・厚生労働省の高齢者住宅及び介護政策や指導方針が及ぼす影響について考察します。水野直樹

開催情報

開催日	2011年 7月30日(土) 14:00～17:00
会場	熊本県労働会館 熊本県労働会館 〒862-0976 熊本県熊本市九品寺1丁目17-9 TEL 096-362-1201 会場はこちら
参加料	HMS会員 16,200円(法人・個人会員) " 17,100円(会報誌購読会員) 一般 18,000円 (資料・消費税含む)
講師	保健・医療・福祉サービス研究会 医療福祉指導部 建築コンサルタント コスモプラン株式会社 代表取締役(一級建築士) 水野直樹氏

プログラム

I. 本格的な超高齢社会に対応し、急増する高齢者住宅需要と今後の経営戦略

- 国交省・厚生労働省における高齢者住まい法・介護保険法改正等の今後の住まいと介護政策とは
- 平成23年度国交省・厚生労働省予算と2012年以降の高齢者住宅・介護事業戦略
- サービス付き高齢者向け住宅制度の正しい理解と「高齢者等居住安定化モデル事業」の届出
- 高齢者住まい法改正に伴う有料老人ホームへの影響と未届有料老人ホームに対する今後の規制
- アウトリーチ・地域移行に伴う病床削減と高齢者住宅への転換策
- 急増する生活保護他、低所得者に対応した高齢者住宅整備の必要性
- 高齢者複合施設の最新建築設計動向と今後の高齢者住宅・介護事業の潮流

II. 事例に学ぶ高齢者複合施設の建築設計及び開設運営と交付金活用の具体策

—「サービス付き高齢者向け住宅・小規模多機能+GH・サテライト老健等の複数の事例」—

- 緊急整備交付金の活用事例
- 地域介護・福祉空間整備等交付金
- 交付金を利用したスプリング増設事例
- 医療法人、社会福祉法人の多様な高齢者複合施設の事業モデル

III. 2025年に向けた地域包括ケアの実現と高齢者の住まい事業の将来

—質疑応答—

講師紹介

保健・医療・福祉サービス研究会 医療福祉経営指導部 建築コンサルタント
コスモプラン株式会社 代表取締役(一級建築士)

水野直樹氏

【経歴】

昭和56年 東京芸術大学美術学部建築科 卒業

昭和58年 " 大学院 修士課程 修了

平成7年 コスモプラン株式会社一級建築士事務所 設立

代表取締役 就任

平成22年2月より保健・医療・福祉サービス研究会 医療福祉指導部 建築コンサルタントに就任。

【資格】

一級建築士

【所属団体】

社団法人 日本建築家協会(JIA登録建築家)

社団法人 日本医療福祉建築協会

一級建築士として、医療・福祉建築の設計業務に特化、

また、保健・医療・福祉サービス研究会の建築コンサルタントとして

全国各地で講演並びにコンサルティングを行っている。

建築設計のみならず、国交及び厚生労働行政にも精通しており、常に現場を重視、

各法人様のおかれた環境や特性に合う事業展開、運営、経営並びに交付金

活用のコンサルティングを幅広く手掛け、多くの実績を築き、医療法人・社会福祉法人・民

間法人問わず、大変好評を博している。

